



郷土史の記録1冊にまとめ、次代へ

三和地区のさんわ郷土史研究会（会長梅岡壽啓）が、活動の集大成として郷土の歴史を記録してきた会報「志摩利夜話」を1冊の本にまとめられ発行されました。会報はこれまでに58号発行され、会員を中心に原稿を作成し、郷土の知られざる歴史や戦争の体験記など掲載されてきました。「会報はいつたん休刊しますが、この冊子が次代へ語り継ぐ資料になり、郷土を知ること、郷土を愛する人が育てば」と発行の想いを話されました。冊子は300部作成され、町内の各小中学校や図書館等、公共機関を中心に寄贈されています。また、希望者には販売もされています。お問い合わせは、会長 梅岡さん（TEL 85・2956）まで。



伊座利の未来を考える推進協議会 草野裕作さん

地域活性化の一助に!! 「協働のまちづくり研修会」

自治振興連絡協議会（会長大橋崇信）が主催する「協働のまちづくり研修会」が2月24日、三和公民館で開催されました。徳島県美波町伊座利地区の都市部との交流体験事業や、総社市の魅力をPRしているNPO法人の活動紹介に120名の参加者は熱心に聞き入っていました。

午後からの分散会では自治振興会の役員らがそれぞれの地域の課題について議論し、参加者らは「地域活性化に向けてできることから取組んでいきたい」と話されました。



NPO 法人吉備野工房ちみちの 加藤せい子さんは油木地区出身

ふれあい号をご利用の皆さまへ

平成23年度
公共交通カレンダーを配布します



町では、ふれあい号運行地域を対象に平成23年度も公共交通カレンダーを作成し、配布をします。ふれあい号の運行図、運行時刻をカレンダーに表示していますので、ぜひご活用ください。また、ふれあい号利用の相談を受け付けています。

例えば

- ・ふれあい号を利用したくても、歩いて出ることができないので利用できない。
- ・乗り降りできないので、乗合タクシーに乗りできない。

など、ご相談ください。
相談により、介護タクシーの利用ができるようになったり、タクシーチケットを交付したり、相談内容に合わせた交通手段を提案させていただきます。

相談窓口 総務課 ☎89-3330

不動産公売会を実施します!

町では、入札による不動産公売会を実施します。

○公売日時：平成23年5月10日（火）
受付 10時～ 入札 10時20分～

○場所：三和公民館1階会議室
詳しくは、住民課にお問い合わせいただくか、町のホームページをご覧ください。

●お問い合わせ先
住民課収納係 ☎89・3334
ホームページアドレス
<http://www.jinsekigun.jp/>

売却区分	財産の表示・見積価格・公売保証金額
23-1	<p>(物件1)</p> <p>・神石高原町笹尾字 妙楽寺谷妙見原甲 1063 番3 畑 1,252 m²</p> <p>見積価格 49,000 円 (公売保証金額 4,000 円)</p> <p><small>※土地の所有権については、公売後所有権移転を行います。土地の耕作権については平成23年10月31日まで前耕作権者であることを条件とします。 ※公売面積は登記簿面積のため、地籍調査により面積の変更が生じますので、あらかじめ御了解ください。</small></p>

中高一貫教育検討委員会が、教育委員会へ答申

3月8日（火）中高一貫教育検討委員会は、教育委員会へ中高一貫教育の可能性について、答申を行いました。

5回の委員会の内容を受けて、答申書をまとめた中高一貫検討委員会の木本成文委員長が、教育委員会委員へ答申内容と議論の自身を説明し、山本委員長へ答申書を渡しました。

答申書は、「神石高原町の教育



木本委員長(左)から山本委員長(右)へ答申書が渡されました

現場に中高一貫教育のシステムを導入することの有効である」と形態は「連携型中高一貫教育」であり、その実現と持続的推進のためには一定の条件が必要であるという内容です。

答申を受けて今後、教育委員会で中高一貫教育への具体的方針を決定していきます。

地元の食材を使った学校給食

教育委員会の食育地産地消推進事業として、今年度3回目の取り組みが2月18日（金）に実施されました。当日は神石高原町の食材として、豚肉、ブルーベリージャム、ユズ酢を使った「トンカツブルーベリーパン ユズゼリー」

他3品の給食を味わいました。

力を合わせて給食を準備、そして、楽しく会食を

しました。

子ども達からはおいしかったというたくさんの給食の感想が届きました。

「神石はおいしいものがいっぱい」「トンカツはさっくらんぷん」「地産地消みんなで特産を守ろうよ」「ふるさとの味はおいしいな」

これからも、学校給食を通して、食育と地産地消が推進できるように、関係者で連携を図り、地元の食材を子ども達に届けたいです。

(写真提供) 神石小学校



人権の花ヒヤシンス育て 思いやりの心を



人権の花運動の取り組みを町内の各小学校で実施されています。その取り組みに対して、感謝状の贈呈式が行われました。高蓋小学校では全校児童37名がヒヤシンスを育て、3月1日佐伯知省人権擁護委員から感謝状を渡されました。児童代表の梅岡未来さん（6年生）は「今、私はケガで車いすの生活ですが、周りの人の親切に助けられとても感謝しています。今までヒヤシンスを送ってくださり、ありがとうございました」とあいさつしました。3月で閉校となる高蓋小学校ですが、その思いやりの心の花はいつまでも咲き続けることでしょう。

楽しかったバドミントン体験

2月20日、油木体育館で広島ガスで日本リーグ（一部）で3位の実績のある吉岡知香先生、全日本実業団大会に21回連続出場中の山領篤先生を迎えバドミントン教室が開催されました。

初めてバドミントン体験する子ども達も多く参加し、始めはシャトルがラケットに当たりにませんでした。吉岡先生の「ナイススイング」などの明るい声かけのもと終わる頃には当たりだし、バドミントンの楽しさを教わりました。吉岡先生は、小学生の頃に色々なスポーツを体験する大切さを話されました。子ども達は「次はいつあるの?」「バドミントンを始めたい」など初体験のバドミントンが好きになったようでした。

